

2026 年 7 月 8 日

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町一丁目 16 番地武藤ビル 3F

ファーストメイク・リミテッド株式会社

代表取締役 前 一明 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状

株式会社地域新聞社（以下「当社」といいます。）は、2022 年 10 月 24 日開催の取締役会において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めるとともに、当該方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組みとして、当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）（以下「本対応方針」といいます。）を導入することを決議し、2022 年 11 月 24 日開催の第 38 期定時株主総会において承認を受けておりましたところ、本対応方針は、2025 年 10 月 17 日開催の取締役会において所要の変更を行った上で更新する旨決議され、当該更新は、2025 年 11 月 30 日開催の第 41 期定時株主総会において承認されております。

その後、当社は、2026 年 1 月 16 日付け「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収への対応策）に関する共同協調行為の認定についてのお知らせ」（以下「認定プレス」といいます。）でお知らせしましたとおり、同月 15 日開催の当社取締役会において、当社独立委員会による勧告を踏まえて、MTM Capital 株式会社（以下「MTM Capital」といいます。）、合同会社 YN 企画（以下「YN 企画」といいます。）、バイオセラミック株式会社（以下「バイオセラミック」といいます。）、合同会社 Happy horse（以下「Happy horse」といいます。）、KING 有限責任事業組合（以下「KING」といいます。）、静岡エネルギー株式会社（以下「静岡エネルギー」といいます。）、株式会社日本シーサプライ（以下「日本シーサプライ」といいます。）、中谷正和氏（以下「中谷氏」といいます。）、野本豊氏（以下「野本氏」といいます。）及び鈴木祥元氏（以下「鈴木氏」といい、MTM Capital、YN 企画、バイオセラミック、Happy horse、KING、静岡エネルギー、日本シーサプライ、中谷氏、野本氏及び鈴木氏を総称して「認定対象株主」といいます。）の間に「当該株券等取得者等と当該他の株主との間にその一方が他方を実質的に支配し若しくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為」（以下「共同協調行為」といいます。）に該当

する行為が行われていると判断いたしました。もっとも、2026年5月29日付け「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、上記判断を公表した後における認定対象株主の株主名簿上での当社株式の保有状況等から、認定対象株主は、上記共同協調行為の認定を受け、本対応方針に基づく対抗措置の発動を回避すべく、自己名義で直接に当社株式を所有することを避けつつ、当社株式を、信用取引の買い建玉の形で実質的に保有し続け、場合によっては買増しも行っている可能性がある」と推察されたため、認定対象株主が実質的に所有している当社株式に係る議決権割合を明らかにすることを主たる目的として、当社は、2026年6月25日を基準日として、株式分割を実施いたしました。

貴社は、上記基準日時点では、株主名簿上の株主ではありませんでしたが、認定プレス別紙に記載のとおり、貴社と認定対象株主との間には人的関係ないし取引関係が認められます。すなわち、①貴社と野本氏及び鈴木氏との間には金銭の貸借関係が認められます。また、②貴社と YN 企画との間には菊本博之氏を介した人的な関係が認められます。さらに、③貴社と GFA 株式会社（現・abc 株式会社。以下「GFA」といいます。）との間には片田朋希氏を介した関係性が認められるところ、GFA は Happy horse、YN 企画、バイオセラミック及び KING との関係性を有し、GFA と強い繋がりを有するピクセルカンパニーズ株式会社を介して、静岡エネルギー、日本シーサプライ及び中谷氏との関係性、能勢元氏を介して MTM Capital との関係性を有しております。

また、認定プレス別紙に記載した事情に加えて、貴社は、SAAF ホールディングス株式会社の2026年3月16日付け「大規模買付等に関する対応策（買収への対応方針）に関する共同協調行為の認定について」プレス別紙において、YN 企画、Happy horse、野本氏及び鈴木氏を含む共同協調行為者のいずれとも関連する会社として指摘され、これらの共同協調行為者は総称して「ファーストメイク・リミテッドグループ」と呼称されているほか¹、FACTA2026年4月号記事「「地域新聞社」「SAAF」に魔の手／「ウルフバック軍団」の音頭を取る某投資顧問」において、貴社は、当社のウルフバック軍団の音頭をとる会社と指摘されております。さらに、当社は、2023 年頃、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である前一明氏より、当社が船井電機株式会社の子会社となっていた株式会社ミュゼプラチナム（以下「ミュゼプラチナム」といいます。）から 90 億円分の広告を受注し、あわせて既存株式を大幅に希釈化するような増資を組み合わせた資金調達を中核とする提案（以下「本提案」といいます。）を受けました。報道のとおり、この当時のミュゼプラチナムは、既に多額の広告費や多数の店舗に係る固定費の負担に加えて、顧客から施術費等を前受金として受け取るといった自転車操業的な手法により財務状態がひっ迫していたとみられ、当該提案は、当社をいわゆる「ハコ会社」として利用するためのものであったと考えられます。

以上のとおり、貴社が認定対象株主との間に関係性を有しており、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である前一明氏が過去に当社をいわゆる「ハコ会社」として利用するためのも

¹ なお、当該プレスでは、貴社は「B 社」と呼称されています。

のと考えられる提案を行っていることにも鑑みれば、当社として、貴社は、前記株式分割の基準日時点では株主名簿上の株主ではなかったものの、認定対象株主その他の株主との間で当社株式の取得や株主権の行使等に関する意思連絡を現に行っている、又は、今後行う可能性があるか否かを判断する必要があると生じております。

つきましては、当社において、貴社が当社の株主との間で当社株式の取得、株主権の行使及び当社の経営支配権に対して影響を及ぼし得る行為等に関して意思連絡を行っているか否かを判断するために必要な情報と考える下記の各事項につきまして、**2026年7月15日（水）までに当社に到着するよう、書面にてご回答くださいますようお願い申し上げます。**

ご回答の際は、署名・押印のうえ、当社宛に書面でご提出ください。

なお、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び捜査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

記

（１） 貴社及び関連法人・関係者の概要

- ・ 貴社の沿革、資本構成、出資者の氏名・構成比、資金の貸借関係の有無についてご教示ください。
- ・ 主要な取引先及び顧問・助言者（法務・財務・投資等）についてご教示ください。

（２） 当社株式の今後の取得予定

- ・ 当社株式の今後の取得予定の有無及びその内容について、具体的にご教示ください。

（３） 当社株式に関する意思連絡の有無

- ・ 貴社自身は当社株式を保有されていないものの、第三者（認定対象株主及び当社株式に係る大量保有報告書を提出しているオプションハウス株式会社（以下「オプションハウス」といいます。）を含みますが、これらに限りません。）との間で、当社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。
- ・ 第三者（認定対象株主及びオプションハウスを含みますが、これらに限りません。）との間で、当社以外の会社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。

(4) 当社経営への関与方針

- ・ 当社に対する提案行為又は経営関与（取締役選任、資本提携、事業提携等）の意図の有無についてご教示ください。
- ・ 上記質問に関連して、本提案を行った経緯及び意図並びに現在において当社の経営支配権に影響を与える意図の有無及びその内容・方法について具体的にご回答ください。
- ・ 今後、当社経営方針に関する発言や議案提案を行う予定の有無についてご教示ください。

以 上